

令和7年度の取組状況

①こどもまんなかクラブの運営

【対象者】 令和7年4月時点で小学1年生世代から29歳までの方
 【登録人数】 57人（最年少は6歳、最年長は29歳）
 【聴取方法】 オンラインアンケート、対面型イベントなど
 【R6実績】 12回（オンラインアンケート9回、対面型イベント3回）



実施日	内容	課室名	参加状況
8月18日、31日	「あそびのひろば（対面型イベント）」の周知	公園企画課	506人（来場者）
9月10日	男女共同参画社会について（オンラインアンケート）	こども・女性課	5人
11月17日	未来の魅力ある農業の姿について（オンラインアンケート）	担い手・農地マネジメント課	4人

②学校訪問による意見聴取

11月までに小学校から大学までの計10校を訪問し意見聴取を実施（次頁参照）



奈良県立大学にて(R7.7.11)

③こども・若者を審議会等の委員に選任

公募により、「奈良県こども・子育て支援推進会議」に2名（高校生）、「奈良県男女共同参画審議会」に2名（大学生、社会人）のこども・若者委員を選任

④こども・若者の視点に立った意識調査(こども・若者実態調査)

県内のこども・若者（13歳～29歳）5,000人を対象にアンケート調査を実施
 調査期間：11/1～11/30 有効回答数：1,359（回答率27.2%）

ご意見をいただきたいポイント

- ・こどもまんなかクラブの活性化について
- ・意見聴取後のフィードバックの方法について

これまでのフィードバック方法

- ・こどもまんなかクラブ
年度末に「こどもまんなかクラブ実施報告」としてHP上に公表
- ・学校訪問
訪問後1ヶ月を目途に、HPで訪問結果を公表し聴取内容のまとめを訪問先へフィードバック

令和7年度学校訪問実績(7月～11月)

資料2-2

No.	実施日	聴取テーマ	課室名	聴取対象	参加状況
1	7月9日	公共交通機関の利用について	リニア・地域交通課	県立桜井高校	9人
2	7月11日	男女共同参画社会、こどもまんなか未来戦略について	こども・女性課	奈良県立大学	約100人
3	9月9日	観光産業の担い手育成について	観光戦略課	県立商業高校	2人
4	10月10日	食品ロスについて	豊かな食と農の振興課	大淀町立大淀緑が丘小学校	28人
5	10月27日	奈良県の広報について	広報広聴課	大和郡山市立郡山西小学校	81人
6	10月28日	若者に選ばれる職場について	人材・雇用政策課	県立奈良北高校	15人
7	10月31日	ジビエについて	豊かな食と農の振興課	王寺町立王寺北義務教育学校(前期)	31人
8	10月31日	奈良県職員の採用について	行政・人材マネジメント課	王寺町立王寺北義務教育学校(後期)	7人
9	11月5日	教員の働き方改革について	教職員課	香芝市立香芝北中学校	6人
10	11月20日	公共交通機関の利用について	リニア・地域交通課	県立高等養護学校	7人

2

実施日: 令和7年7月11日(金)

テーマ: 男女共同参画社会、こどもまんなか未来戦略について
(こども・女性課)

対 象: 奈良県立大学 学生約100人



質問(抜粋)

様々な場面に残る性別に関する固定概念を解消するにはどうすればよいと思うか

学生からの意見(抜粋)

・義務教育の間に、授業として、ジェンダーについて学ぶ機会を与えるといいのではないかと
・社長など上の立場の人が意識的に改革を行っていく

こどもまんなか未来戦略の数値目標のひとつである「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思う人の割合を高めていくためには、どのような取組が必要だと思うか

・こども政策に関心の低いこども・若者の意見も聴けるよう、学校や企業といった組織単位で意見聴取を行う

5

実施日：令和7年10月27日（月）

テーマ：奈良県の広報について（広報広聴課）

対 象：大和郡山市立郡山西小学校 5年生3クラス81人



質問

奈良県公式Vtuber奈々鹿のどんな動画を作りたい、見てみたいですか

学生からの意見（抜粋）

動画タイトル	奈々鹿のおでかけ♪
伝えたいこと	世界中の人に奈良の魅力を伝える
動画内容	動画がはじまる時、背景を奈良公園にする 世界中の人に伝えるから、できれば英語版の動画を作る

動画タイトル	奈良出身の有名人とコラボ！！
伝えたいこと	奈良の良いところ
動画内容	奈良県出身の有名人に質問コーナー

奈々鹿へのプレゼント
～小学校・こどもの頃の思い出～
（自分の体験をもとに、奈々鹿にこどもの頃の思い出をプレゼントしよう）

- ・奈良公園に家族で行った
- ・金魚すくい大会に家族で出た
- ・体育参観でソーラン節を踊った
- ・野外活動で、カレーを作ったよ！
- ・生駒山上遊園地で空からの景色を楽しんだ
- ・吉野の桜を見に行ったら

6

実施日：令和7年10月28日（火）

テーマ：若者に選ばれる職場について（人材・雇用政策課）

対 象：奈良県立奈良北高校 生徒会15人



質問

県内の若者に県内就職してもらうために、企業や県は何をすればよいと思うか

学生からの意見（抜粋）

- ・進学校には企業紹介を受ける機会がなかなかない。早いうちから学生の頭に残しておくことが大切だと思う
- ・奈良県内に大学が少ない。大阪の大学に行くと大阪で就職するための就職支援が中心になると思うので、そうすると奈良に戻ってくるメリットがない
- ・社長や上司の考え方が柔軟であること。自身が立案した事業を通してもらいやすいような環境がいい
- ・子育てとの両立や、挑戦して自己成長できる環境が整っている企業がいい
- ・奈良県内の企業の仕事内容を知ってもらう機会（講座や体験）を増やし、SNSで高校生や大学生にも知ってもらえるといいと思う